

平成 30 年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 星槎道都大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学部社会福祉学科 2 年生

実施内容 児童虐待防止活動の為に『掲示物作成』及び『地域啓発活動』

### ① 事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待防止の掲示物を作成するため、虐待の講義や図書館で自己学習などを行った。講義内容や自己学習の内容をもとに、マスコットをつけた、学生オリジナルのオレンジリボンを作成。また模造紙で児童虐待についての内容などをまとめ、その後、児童虐待防止のためのポスターの作成を行った(9月18日~9月21日)

### ② 実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・児童虐待についての現状などを記載した掲示物やポスターを、下記のイベントに持参し、地域住民に対して児童虐待防止の啓発に活用した。
- ① 星槎道都大学開催『大学開放 DAY』の社会福祉学部のブースで掲示(10月14日)
- ② 北海道北広島市で開催、市民向けの『児童虐待防止講演会』に学生が参加、講師から学ぶのと、会場に掲示物を掲示し、多くの市民に見ていただいた(11月20日)。

### ③ オレンジリボン運動を終えて…

- ・地域への働きかけへの前段階として、学内の活動を実施したが、自分が児童養護施設や保育所で支援する専門職になった場合に、また親になった場合にどのように子供に接するべきなのかを学ぶ良い機会となった。
- ・運動に参加した社会福祉学部の学生は将来専門職として、目の前の子供や親に対するミクロの支援を行うことになるが、福祉の支援はミクロの支援のみならず地域への働きかけというメソや、マクロの支援も大切であり、ソーシャルアクションを行うスキルも身に付いたと思われる。
- ・社会福祉学部社会福祉学科の2年生と指導などをした教員の凝集性は高まったと思われる。



【星槎道都大学】 <https://www.seisadohto.ac.jp/>